



いきいき通信 No.8

伊部小学校 ネットワークいきいき部会 H30.9.18発行

ボランティアとは、人の役に立つこと



9月13日(木)、6年生がボランティア活動をしている学生さんたちから、「ボランティア」についての話を聞きました。

ボランティアの7つの種類(集める・伝える・守る・作る・手伝える・整える・ふれあう)3つのポイント(自主性・無償性・社会性)についての説明や、西日本豪雨災害の際救援ボランティアとして活動した体験を聞くことで、改めてボランティアの大切さを学ぶことができました。

ボランティアを始めるきっかけや内容、思いは人それぞれ違うけれど、みんな「やってよかった。」と感じておられること。そしてボランティアは特別なことではなく、身近な活動もたくさんあることを知りました。

11月には、4・5・6年生が学校周辺の清掃活動を行う予定です。いきいき応援隊の方や保護者の皆様と一緒に、町や人のために役立つ活動に取り組みます。



児童の感想から

もう少し大きくなったら、北海道や広島などの県外にも出て行って、だれかのためにボランティアをしてみたい。

ボランティアって聞いたから難しいことだと思っていたけど、自分も自然とやっていたことに気付いた。人のためになることは大変だけど、「助かった。」と言われて達成感が大きいんだなと思った。

家を無くした子どももいるのに、「家に帰ったら…」とうっかり言ってしまい、傷つけてしまったところが心に残った。言葉をよく選ばないといけないと思った。

ボランティアに対するイメージが広がった。被害に遭った家の泥や木を片付けるような体力がいる仕事ばかりだと思っていたけれど、子どもと一緒に遊ぶこともボランティアの一つだった。ふれあいならわたしにもできるなと思った。

子どもたちは、ボランティア等に取り組む大人の姿を見、心からの言葉を聞いて、勤労観を高めています。